

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

347号

2020年新年号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 新年辞

時代は変わる、時代を変える  
～2020年を飛躍の年に～

韓統連大阪本部代表委員 金隆司(キム・ユンサ)



旧年中、韓統連大阪本部にご支援、ご協力いただきましたすべての皆さんに、あらためて感謝を申し上げ、新年のご挨拶を送ります。

用工問題に端を発した「韓日関係悪化」の本質は、韓国と日本の対立ではなく、



キャンドル革命を支持・推進する勢力とそれに反対する(積弊)勢力との対立であり、朝鮮半島の平和・統一勢力と戦争・分断勢力との対立です。

## ●世界は変わる。世界を変える。

昨年の朝鮮半島情勢は非常にもどかしく、欲求不満が残る年だったかもしれません。しかし、朝鮮半島が平和と統一へ大転換した2018年の巨大な流れは変わる事はありません。

歴史は大きく変わろうとしています。去年は東西冷戦終結30周年の年でした。東西冷戦時代が44年、ドイツの分断時代が40年。今、私達は最後の冷戦といわれ、70年以上も分断が続いた朝鮮半島が統一に向かう歴史的な場面に遭遇しています。分断既得勢力の執拗な抵抗は続きますが、朝鮮半島の冷戦崩壊の地殻変動をいつまでも止めることはできません。

2018年は巨大な一步の年でした。2019年はさらなる一步のための準備の年でした。2020年は飛躍の年です。歴史を前進させるのか、後退させるのか。歴史を動かすのは卓越した指導者や英雄ではなく、私達民衆です。世界は変わる。世界を変える。確信をもって、私達の力で、一日も早く、朝鮮半島の平和と統一を実現していきましょう。

## ●平和・統一時代の新しい韓日関係

朝鮮半島の雪解けは、冷戦時代の韓日関係(韓日条約体制)の矛盾をより拡大させています。徴

## ●韓日平和勢力の連帯が重要

半世紀以上も前に締結された「韓日条約ですべて解決済み」と豪語し、文在寅政権を追い詰めようとする安倍政権は、南北の和解と平和統一への動きによって「北朝鮮の脅威」を口実に進めてきた安保体制と軍国主義化、辺野古米軍基地新設、9条改憲などの根拠が失われることを恐れています。朝鮮半島の平和と日本の平和は表裏一体です。韓日関係の改善のためにも韓日の平和勢力が連帯し、朝鮮半島の平和と統一を支持、推進していくことが重要です。そして、その流れが新しい時代の新しい韓日関係の土台を構築していくでしょう。

今年は「韓日併合110周年」「朝鮮戦争開戦70周年」「4月革命60周年」「光州民衆抗争40周年」「6・15南北共同宣言20周年」という節目の年となります。

時代は常に動き、歴史は変化し、発展しています。新年が朝鮮半島にとっても、皆さんにとっても幸多い年になることを祈願し、新年の挨拶とします。

新年明けましておめでとうございます。

「自主(チャジュ)」2020年新年号では、日頃から韓統連大阪本部と連帯関係にある各界の方々から、新年辞を送って頂きましたので、紹介させていただきます。

## 2020年新年辞

### 在日韓国良心囚同友会代表 李哲(イ・ Chol)

自主の読者の皆様、新年おめでとうございます。

昨年6月30日に劇的な南北米の板門店頂上会談もあり、朝米、南北関係はさらに発展するものと思っていましたが、米国の不誠実さによって雲行きが怪しくなってきたようにも思えます。しかし、朝鮮半島の和解と東アジアの平和定着は時代の流れです。今年はきっと目を見張る展開が待っていると信じています。

去年は私たちが在日韓国良心囚同友会にとって画期的な年でした。6月27日、大阪を訪問した文在寅大統領は、国家を代表して在日政治犯と家族に心のこもった謝罪を述べ、今後も真実を究明し、傷を癒やすための努力を続けていくと約束しました。私たちは大統領のこの謝罪を大きな感動を持って聞きました。

また私たちは、年初め以来3名の再審無罪を勝ち取ることができました。これでこれまで再審を申し込んだ37名全員が無罪を勝ち取ったこととなります。私たちはこれらすべてが長い間、私たちが在日政治犯の救援運動を続けてくださった皆様のお陰だと感謝し、これからも謙虚に一步一步進んでいくつもりです。

同友会はまた遅ればせながら、日本での政治犯救援運動の資料や記録を収集してデータベース化し、大切に保管しようと資料室を開設しました。それは日本での救援運動は単なる救援運動だけでなく、韓国の民主化運動の一翼を担うものであったと認識するからです。私たちはこれらの貴重な



資料が散失してしまわないよう整理して、大切に残していく所存です。もし皆様のお手元に救援運動に関する資料などが残っていましたら、どんなものでも結構です。ぜひ私たちまでご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

私たちは約半世紀のあいだ続けてこられた皆様の自主・民主・統一運動が、今年こそ韓国政府当局に正当に認められるよう望み、今年も皆様とともに前進する所存です。

新年に皆様のご健勝と発展を心よりお祈りいたします。

## 歴史を学ぶということ

### 日韓平和連帯顧問 永久睦子

安倍政権は日韓関係において最悪の状況から一歩も踏み出せず年を越し、孤立の道を辿っています。その自覚がないことが最大の不幸です。

一方、韓国は2017年、キャンドルデモによって政権交代を成し遂げ、南北の和解と交流を進め、2018年には第3回南北首脳会談を実現しました。その後、史上初の朝米首脳会談へとつながり、世界でただひとつ残された分断国家の統一への動きに世界中の熱い眼差しが注がれました。そんななかで一貫して、ひとり蚊帳の外で、その流れを妨害してきた安倍首相が、今度は元徴用工の賠償問題や「慰安婦」問題の解決に向けた文在寅大統領の動きに反発し、輸出規制などの報復措置に打って出ました。あろうことか、河野外務大臣が韓国大使を呼びつけ、メディアの前で大使の発言を遮り「無礼だ」と言い放ちました。日本市民はこれをどう受けとめたのでしょうか。「河野外相！謝れ！」という怒りの声を束ねる運動が求められているのだと、韓国のデモを思い起こしました。

昨年の8・15コリア国際平和フォーラムでは「アメリカが建国以来、世界で、朝鮮で何をして



きたのか」が提起されました。アメリカ帝国主義による侵略と虐殺の歴史です。衝撃と怒りで「知っているつもり」の意識が吹っ飛びました。日本で朝鮮問題を語ろうとすれば「北朝鮮の核と拉致」を持ち出されることが少なくありませんが、そこではアメリカの侵略の歴史、蹴散らされ、殺されていった民衆の歴史を併せて語ってほしいのだと思いました。

一昨年の「チンチャコリアツアー」と「8・15」に参加した女性から「日本人が鈍いのは侵略を受けたことがないからでしょうか」と問われました。このメンバーで歴史を学び直すことが忘年会で決まりました。

## 2020年こそ

### 朝鮮半島の分断を終わらせよう！

日韓平和連帯共同代表 山元一英

新年、明けましておめでとうございます。

一昨年、戦後最後の東西冷戦構造であった朝鮮半島の南北分断に終止符を打つべく、劇的な南北首脳会談、朝米首脳会談が開催され、東アジアの恒久平和構築への流れが形成されました。

しかし昨年は、米国トランプ政権の対中国经济制裁発動やウクライナ疑惑問題、韓国文在寅政権の対米従属外交姿勢がもたらした南北の和解と協力の停滞、日本安倍政権による韓国大法院元徴用工判決に対する経済制裁が引き起こした日韓関係の悪化等、朝鮮半島と東アジアの平和構築を押しとどめる一年となりました。

しかし、東アジアの平和と朝鮮半島の統一の流れは、決して止めることはできません。

どのような政府であれ、民衆の力が歴史を動かしてきました。韓国のキャンドル革命はそれを証明しました。米国でも、日本でも反戦・反差別の運動はやむことなく続けられています。2020年こそは朝鮮半島の分断を終わらせ、東アジアの



平和を実現するため、日韓民衆のさらなる連帯を強化する年としましょう。

## 新年を迎えての覚悟と希望 日朝国交正常化の早期実現を求める 市民連帯・大阪共同代表 大野進

昨年の韓日関係は徴用工問題に端を発し、日本政府の見え透いた嫌がらせで輸出ホワイト国から除外した結果、韓国の国民的反発を招く結果となりました。



韓国政府は当初から韓日軍事情報包括保護協定(GSOMIA)の延長を拒否する姿勢であったが、残念ながらアメリカの圧力に屈したのか、急転直下継続を決定してしまいました。このことは朝鮮民主主義人民共和国にしてみれば、板門店・平壤・白頭山での約束を反故にされたことと合わせて、文在寅大統領への信頼が崩れ去ったことを意味します。

私は決して内政に干渉する思いは一切ありませんが、南北融和の実現が遠のいた感が否めません。

一方、朝米関係もアメリカの引き延ばしは、これ以上できないことはトランプ大統領も理解していることでしょう。一日も早く経済制裁を解除して、戦争終結に向かわなければ、朝鮮対米日韓が危機的状況に陥ることが私たちの脳裏に浮かんできます。

安倍政権もアメリカ追従も程々にして国民の命と暮らしを守るため、持てる勇気を振り絞り「永遠に平壤の敷居をまたがせない」と言われるなかで、何をすべきか理解して即行動に移すべきであり、一刻の猶予もありません。

日本が戦前戦後100年以上の長きにわたり朝鮮人の命を奪い、差別し、苦しめ続けていることに日本人の私は辛く、苦しく、恥ずかしいです。なぜなら安倍政権が朝鮮敵視政策を以前よりも加速・増幅させているからです。

「少数こそ真理」と聞いたことがありますが、

韓統連大阪本部と日朝市民連帯・大阪が協力して運動し続け、裾野を拡げること以外に近道はありません。今年も友情と連帯でよろしく願います。

## 東アジアの平和と朝鮮半島の 自主的平和統一の実現に向け まい進しましょう！ おおさかユニオンネットワーク代表 垣沼陽輔

新年明けましてお  
めでとうございます。

昨年、2018  
年に増して韓国と朝  
鮮民主主義人民共和  
国（略：共和国）の

南北対話が進み、開城工業団地と金剛山観光の再開が実現し、2月27日から開催されたハノイでの朝米首脳会談で朝鮮半島の非核化、朝米平和協定へ順調に推移するものと思っておりましたが、朝米共同声明署名が突然中止となり、期待が一挙にしぼみました。

そして6月に日本で開催されたG20首脳会議後、トランプ大統領が韓国を訪問し、板門店で金正恩國務委員長と3度目の朝米首脳会談を開催して「シンガポール共同声明」の具体化を進める確認がされましたが、進展しているようには見えません。

また、日本の安倍政権は韓国大法院で下された「強制連行労働者」に対する賠償補償判決を認めず、韓国政府に判決の撤回を迫っています。日本の植民地支配への反省もなく、個人の賠償請求の権利も認めず、逆に半導体製造への制裁を発動して文在寅大統領からの韓日首脳会談申し入れを断り、居直りを続けておりましたが、最近になって韓日首脳会談に応じる素振りを見せています。

朝鮮高級学校無償化を求めた裁判は、最高裁でも国の主張をそのまま丸呑みして、学校側の申立を却下しました。また今年10月から実施された幼保無償化制度からも朝鮮幼稚園が排除されてい



ます。このように日本で生まれ育った在日朝鮮人の子どもたちが通う朝鮮初・中・高校への補助金と無償化対象を早期に適用するよう共に取り組んでいきます。

日米軍事同盟強化に反対し、東アジアの平和構築と朝鮮半島の自主的平和統一向け、本年も韓統連大阪本部の皆様が6・15共同宣言実践日本地域委員会の先頭に立ち、奮闘されることを期待します。

## GSOMIA破棄を 東アジアの平和に発展させよう！ しないさせない戦争協力 関西ネットワーク共同代表 中北龍太郎

韓国政府は昨年11月  
22日、韓日軍事情報包  
括保護協定（GSOMIA）の「終了通知の効力を停止させる」と発表し、これにより11月23日に失効せず、一転して継続することになった。米国の強い圧力がその原因だ。



GSOMIAは日韓の軍事関係における唯一の協定であり、日米韓の疑似同盟を象徴する存在である。米国は先制攻撃戦略にもとづいて米韓合同軍事演習を実施し、米軍の高高度ミサイル防御体系（THAAD）を配備している。GSOMIAは東アジアにおける米国主導のミサイル防衛体制づくりと、日本による集団的自衛権の行使を支え、米日韓の三角軍事同盟をさらに促進していくものに外ならない。

文在寅大統領のGSOMIA破棄の決定は、三角軍事同盟の強化の一角に風穴をあけたところに大きな意味がある。文在寅大統領は「すべてをかけて戦争だけは阻止する（17年の8・15光復節記念演説）」と明らかにしている。こうした平和への強い決意が18年4月の南北首脳会談として実践され、6月の米朝首脳会談に発展していった。こうした動きによって、朝鮮半島の非核化と恒久的平和体制の流れが作られた。米朝交渉が進

み、朝鮮戦争終結宣言や平和協定締結が実現すれば、北朝鮮は脅威でなくなり、GSOMIAは無用の長物となるはずだ。

ところが米国の圧力により、GSOMIAは継続されることになった。しかし、いつでも失効の効力を復活することができる。国境を越えた日韓の民衆連帯により、GSOMIAの破棄を実現し、日韓の疑似同盟を解消し、米国の三角軍事同盟を終わらせよう。

## つないだ手を離さなければ勝利する！ 朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪 事務局長 長崎由美子

迎春を皆さんと喜び迎えるためには今年こそ、朝鮮学校への理不尽な差別を廃止させな



ければなりません。2019年は全国で唯一大阪が勝利した朝鮮学校高校無償化地裁判決を高裁が覆し、そして最高裁が棄却をしました。安倍政権の暴走が続く中、司法はもはや権力の番犬であり、法の番人ではありません。そして安倍政権の過去の植民地支配と侵略戦争を消し去る政策に、朝鮮学校が歴史の生きた証人として存在し、歴史の嘘

を許さないからこそ、政権による朝鮮学校への差別と弾圧は生まれるのです。

大阪府庁前での朝鮮学校補助金再開と高校無償化を求める火曜日行動は2012年4月17日から始まり370回を越えました。司法での闘争は敗訴でしたが、毎週集まる仲間の絆と信頼の輪は大きく広がりました。毎回40名以上の日本人、朝鮮学校の関係者が参加してリレートークをします。「大人が子どもの夢と希望を奪わない！」この一点で様々な立場の人間が手をつなぎあい認め合う場所です。当事者であるオモニ（お母さん）やアボジ（お父さん）、教員、生徒の訴えは、いつも胸に熱く重く響きます。生徒が頭を下げて配るビラをはねのけ、冷ややかに行く人間に怒りと、生徒の受ける痛みへの申し訳なさで涙が出ます。

昨年10月から始まった幼保無償化からも朝鮮学校幼稚園は排除されたままです。財源は消費税増税であり、全ての子どもの幼児期の育ちを守る幼保無償化からの排除は絶対に許すことはできません。韓国の支援者である孫美姫（ソン・ミヒ）さんが「つないだ手を離さなければ必ず勝利する！」と言われた言葉を胸に、皆さんとともに安倍政権打倒と朝鮮学校差別廃止を頑張ります。

## 私たち民族同士

# 2020年成人祝賀会

日時：1月19日（日）午後6時～

会場：KOKOカフェ

（大阪市立青少年センター1F）

大阪市東淀川区東中島1-13-13

参加費：新成人者は無料です。

一般：4000円・学生：3000円

主催：在日韓国青年同盟関西地方協議会

在日韓国学生協議会

問合せ：06-7501-7627



## 安倍首相に謝罪と賠償を求める闘いは、 日本軍国主義の復活を阻止する闘い 韓統連大阪本部講演会

2019年、韓日関係が過去最悪の状況と言われる中、韓統連大阪本部主催で「韓統連大阪本部講演会 今、韓日関係を考える」が12月1日(日)、国労大阪会館(大阪市北区)で開かれた。

講演会では、金隆司韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶を通じ「韓日関係を悪化させている根本原因は、安倍政権が1965年の韓日条約で全ての問題は解決済みと主張していることにある」と述べ、「韓日民衆連帯運動をより発展させて、正しい韓日関係の構築に向けて進んでいきましょう」と語った。



▲韓日関係をテーマに講演する金昌五副代表

続いて、この間の韓日関係をめぐる映像資料が上映された後、「なぜ、史上最悪の状態になったのか？」をテーマに、金昌五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表委員が講演を行った。

金副代表は、現在の韓日関係について「安倍首相は、徴用工問題は1965年の韓日請求権協定で、“慰安婦”問題は2015年の韓日合意で解決済みと主張するばかりで、双方に一度も謝罪をしていない」と指摘し、安倍首相が謝罪しない理由は「朝鮮半島を植民地支配したことを反省せず、逆に日本の軍国主義を復活させようと考えているからだ」と語った。

そして「安倍首相に謝罪と賠償を求める闘いは、

日本軍国主義の復活を阻止する闘いでもある」とし、韓日民衆連帯運動の重要性を訴えた。

講演後は質疑討論が行われ、その後、日頃から韓統連大阪本部と連帯関係にある日韓平和連帯、日朝市民連帯・大阪などから連帯アピールが行われ、最後に李鐵(イ・チョル)韓統連大阪本部常任顧問が閉会挨拶を行い、講演会は終了した。

## 2019年の朝鮮半島情勢と 活動を振り返り、成果を共有する 韓統連大阪本部送年のつどい

2019年の活動の成果を共有する「2019年韓統連大阪本部送年のつどい」が12月14日(土)、がんこ桃谷店(大阪市生野区)で開かれた。

つどいでは、金隆司韓統連大阪本部代表委員が「今年は、昨年の大きな朝鮮半島情勢の変化に比べると停滞感があったが、韓統連大阪本部は3・1節100周年母国訪問団、光復74周年事業代表団に全国の仲間とともに参加し、韓国民衆とともに、祖国の平和統一を訴えるなど、成果を残した」と述べながら、「朝鮮半島の平和・繁栄に向けた流れは変わらない。来年は今年の成果を土台にしながら、より大きな成果を勝ち取っていきましょう」と乾杯挨拶を行った。

その後、各テーブルでは鍋料理を囲みながら、親睦と交流を深めるとともに、崔誠一(チェ・ソンイル)韓統連大阪本部事務局長から、画像を活用した「2019年朝鮮半島情勢と韓統連大阪本部の活動を振り返る」が行われ、2019年の情勢と活動の成果を共有した。

そして参加者から「最近、韓国語検定試験を受験し、合格しました」「国内で開かれた3・1節100周年事業に参加して、韓国民衆の熱気を感じた」など1年間の感想が述べられ、最後に金昌五韓統連大阪本部代表委員が閉会辞を述べ、送年のつどいは終了した。

### 編集後記

自主(チャジュ)読者の皆さん、新年おめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

新春早々映画情報です。昨年韓国で話題になりました「パラサイト-半地下の家族-(主演:ソン・ガンホ氏)」が1月10日から全国上映されます。この機会にぜひご覧ください。(ソン)

